

# 「正しい家具固定」学ぶ

大室高原自治会・自主防が訓練

## エンジン協力で転倒防止策

伊東市の大室高原自治会・自主防災会は12日、同自治会館駐車場で防災訓練を行った。住民約200人が集まり、家具転倒防止策や応急手当の実演見学、消火訓練などを通して防災意識を高めた。



道具を使って壁下地のある場所を確認する参加者  
＝大室高原自治会館駐車場

家具転倒防止策の実演はガス会社エンジンとさくら住建の協力で実施した。家具転倒防止用品の紹介、建物の構造の解説に続いて、実際にし形金具で本棚を壁に固定する作業を見た。

エンジンの社員は「金具は家具の方から取り付ける」といったポイントに加え、家具を固定する対象となる壁下地の柱の位置を確認する方法を説明。参加者も下地探し用の道具を手伝い、使い方を確

認した。  
地震発生時に家具の転倒が負傷の原因になることから、転倒防止策の周知を図ろうと訓練に取り入れた。中心となつて企画した自治会・自主防災会副会長の宮嶋宏一さんは「熊本地震もあり、住民が防災を身近な問題として捉え、例年以上に熱心に参加してくれた。これからも防災対策の周知や訓練を重ねていきたい」と話した。